

清水谷区は本日、「清水谷だんじり振興会」設立総会を開催した。

高取1区(旧高取町)の6大字には、古来から各々氏神さん(神社)があり、毎年10月には秋祭りが行われる。各大字(地区)には「だんじり」があり、計6台の「だんじり」が旧街道筋を中心に、宵宮と本宮の2日間 8:00～22:00 の間運行されてきた。宵宮の朝には、関係者が氏神さんの境内で神事後お祓いを受け、授かった「御幣」をだんじりの屋根に取り付けて運行が始まる。

だんじりの運行は、青年団が担ってきたが、少子化もあり年々青年団員が減り続けて、近年では大字役員や青年団 OB などの有志のサポートによって、何とか運行を支えてきた。しかし、現状では今後も青年団員が増える可能性もなく、このままでは担い手不足で、だんじり運行が従来通りできるのかという懸念が出てきた。

ここ数年前から、様々な問題が指摘されていたが、伝統的な秋祭りを何とか正常に将来的に引き継いでいきたいと、青年団 OB や地域の有志により「清水谷だんじり振興会」を立ち上げることとなった。

具体的には、清水谷大字(区)から「だんじり」運行に関する業務一切を委託されての運営になる。現在はだんじり運行の主導は「高取町青年団」が行っており、「清水谷だんじり振興会」との連携が図れるかが問題となる。